

梅香る通信

発行日：平成23年7月 7日

No. 7

新富町立新田中学校

文責：校長 緒方宗雄

『嬉しい』

先日3年生が、新田小へ出向き小学校1・2年生へ絵本の「読み聞かせ」を行いました。少し緊張気味のお兄ちゃんやお姉ちゃんのお話を、小さな小学生が身を乗り出して聞いている。その微笑ましい光景は、大切な時間をいただいているようで、一番嬉しく有り難いと思ったのは私かもしれません。

人が人のために何かができる、それを喜んでもらえる。そこには、働く意義や奉仕の心が育つ芽が確かにあることを感じた瞬間でした。機会があれば、何度かできるといいなー！！



“汗と笑顔と・・・！”

7月3日（日）の参観日、参観授業の内容は「性教育」、午後は親子ミニバレーボール大会でした。午前中の真剣に考える姿と、午後の張り切っているみんなの姿が印象的でした。普段は目にしない親や子の姿の中に私たち職員も混じって、楽しい時間を過ごさせていただいたことに大変有り難く思います。

まず、「汗を出す」。それは、スポーツだけでなく働くことや理屈を述べる時に自分に課したいことでもあります。

保護者や生徒会の皆さんに大変お世話になりました。感謝申し上げます。

【水と命】

私たち人間は、水がなければ生きていけません。コップ1杯の水が命をつなぐ水となり、一方では鼻と口を覆うほどの水で命をなくすこともあります。

渇水で雨を願ったのが嘘のように、その後の大雨で河川は水であふれています。体育の授業では水泳が行われていますし、暑い時には誰もが水に浸かりたいと思うようになります。それに伴って、この時期“水の事故”で尊い命をなくすニュースが目立ちます。

この新田地区も、一ツ瀬川やその支流、ため池や田んぼへ水を引く水路など身近なところに豊かに水があります。

これからの夏が気がかりです。私自身も、急な深みに足を取られて体が沈み、ガブッと水を飲み、それが気管に入って呼吸が苦しくなって慌てた経験があります。

- 近くの河川やため池などで水に入らない。
- 遊泳は、保護者同伴で、許可された海水浴場などで行う。
- 溺れた人を発見した時は、近くの大人を呼びに行く。

（自力での救助は危険）

どこに、どんな危険が潜んでいるか、それをどう避けるか、安全を祈ります。

